

》 乗り入れ計画案について 検討資料

目次

- 1. 計画図に使用していた現況図の訂正 1
- 2. 第2～4回調査検討会資料の訂正 9
- 3. 交通量調査結果 27
- 4. 今後のスケジュール 30



- ①現地と計画図に使用していた現況図にずれの指摘をいただいたため、航空写真や現地等と照合したところ、現況図に誤りのあることが判明した。
- ②原因を明らかにするために、現況図の作成経緯について調査を行うとともに、現地とのずれが確認された岡山駅東口広場バスターミナル出入口付近を対象とした測量を行い、「訂正計画図」を作成した。

■現況図の作成経緯

1. 経緯

- 平成11年12月 岡山駅東口広場整備
⇒竣工図を作成（紙図面）（P. 2）
- 平成20年 9月 一般車乗降場整備
⇒一般車乗降場の竣工図のCADデータを作成（P. 5の一部）
- 平成20年11月 岡山駅西口広場及び東西連絡通路のパンフレット作成
⇒以下の3種類の図面データを合成して平面図を作成（P. 5）
 - ①一般車乗降場の竣工図のCADデータ（P. 5の一部）
 - ②岡山駅西口広場の計画図のCADデータ（P. 5の一部）
 - ③JRから提供された岡山駅東口広場及び岡山駅の図面のCADデータ（P. 3、4）

以後は、この平面図を岡山駅東口広場の維持管理や部分改修において、時点修正を行いながら使用していた。

2. 原因

- 平成11年の岡山駅東口広場改修以降、紙図面をスキャニングして各種の検討などに使用してきたが、岡山駅東口広場のCADデータとしては上記の図面（P. 6）しかなく、作業上便利なこともあり使用していた。
- 様々に使用することであっても、これまでずれに気付かず支障もなかった。

3. 現状

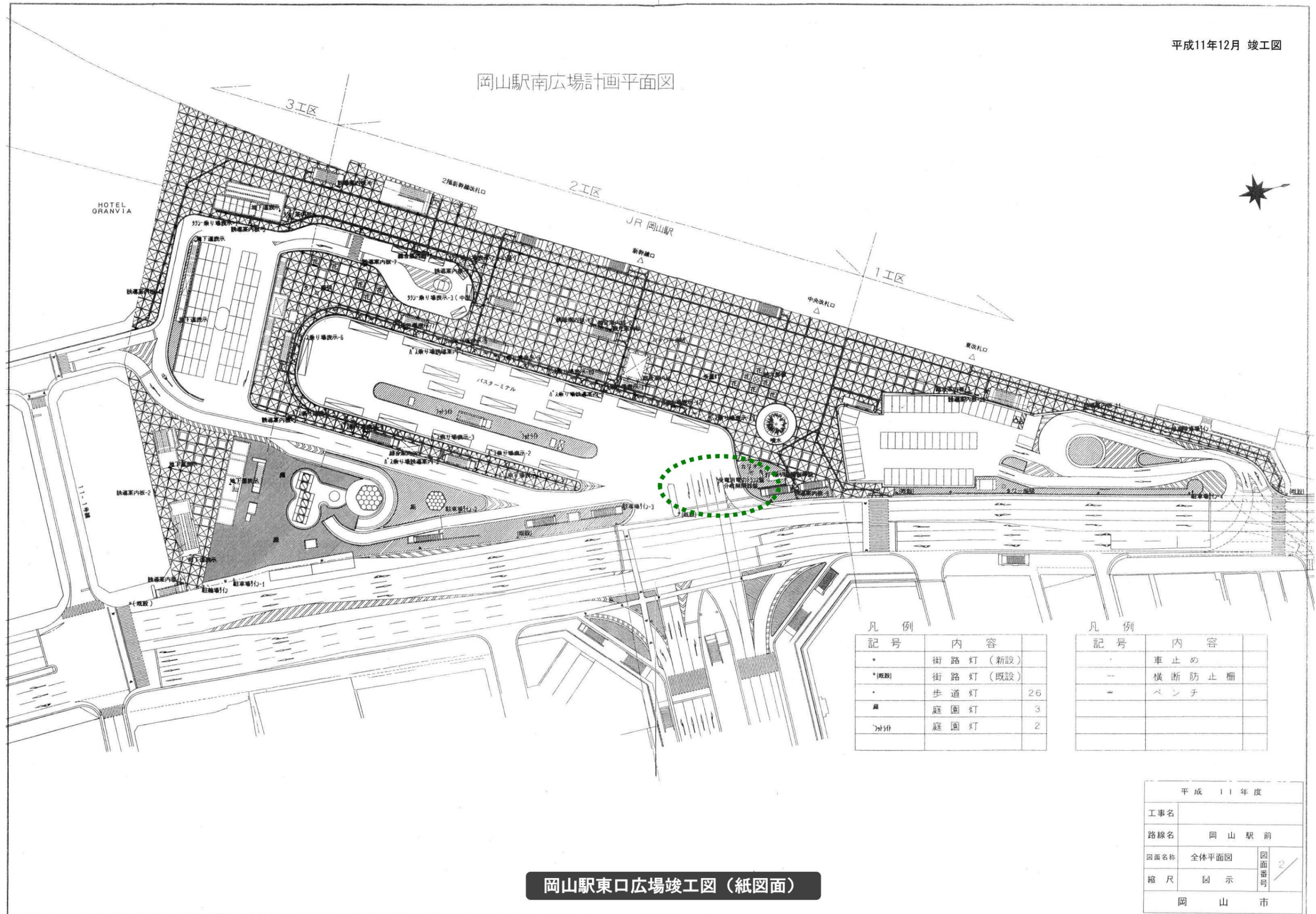
- 現在使用している図面データは、現地と比べて、バスターミナル出入口部が北側で約5.4m、南側で約5.0m南方向にずれている（P. 7）。
- 現地の状況では、路面電車を乗り入れると、バスターミナル出口部の左折車線に軌道が重なることになる。

4. 対応

- 修正案の検討にあたり、バスターミナル出入口部を約5.0m南側に移設することで、左折車線と軌道を重ならないようにするとともに、バスの出入口を確保する。
- 駅前交差点内の車両が走行する軌跡を整理する。
- これに伴って、以下のチェックを行い、計画案の抽出結果に影響するか否かを検証する。
 - ①バスターミナル出入口部を南側に移設することで、駅前交差点の交通処理に支障がないか。
 - ②複数案から計画案を抽出する過程において、選定評価が変わることはないか。

平成11年12月 竣工図

岡山駅南広場計画平面図



凡例

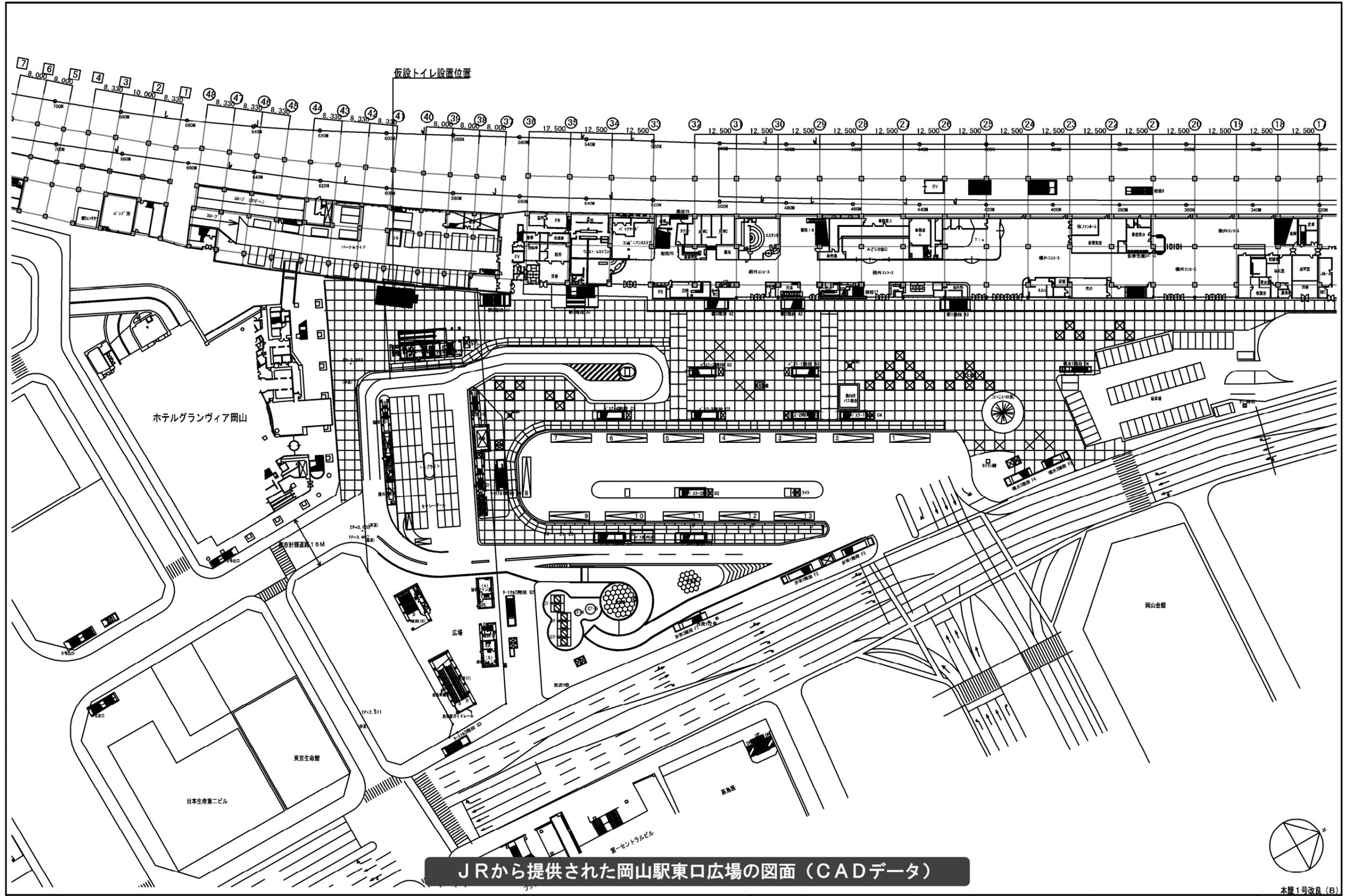
記号	内容	
●	街路灯 (新設)	
●(既設)	街路灯 (既設)	
●	歩道灯	26
■	庭園灯	3
○	庭園灯	2

凡例

記号	内容	
—	車止め	
—	横断防止柵	
—	ベンチ	

岡山駅東口広場竣工図 (紙図面)

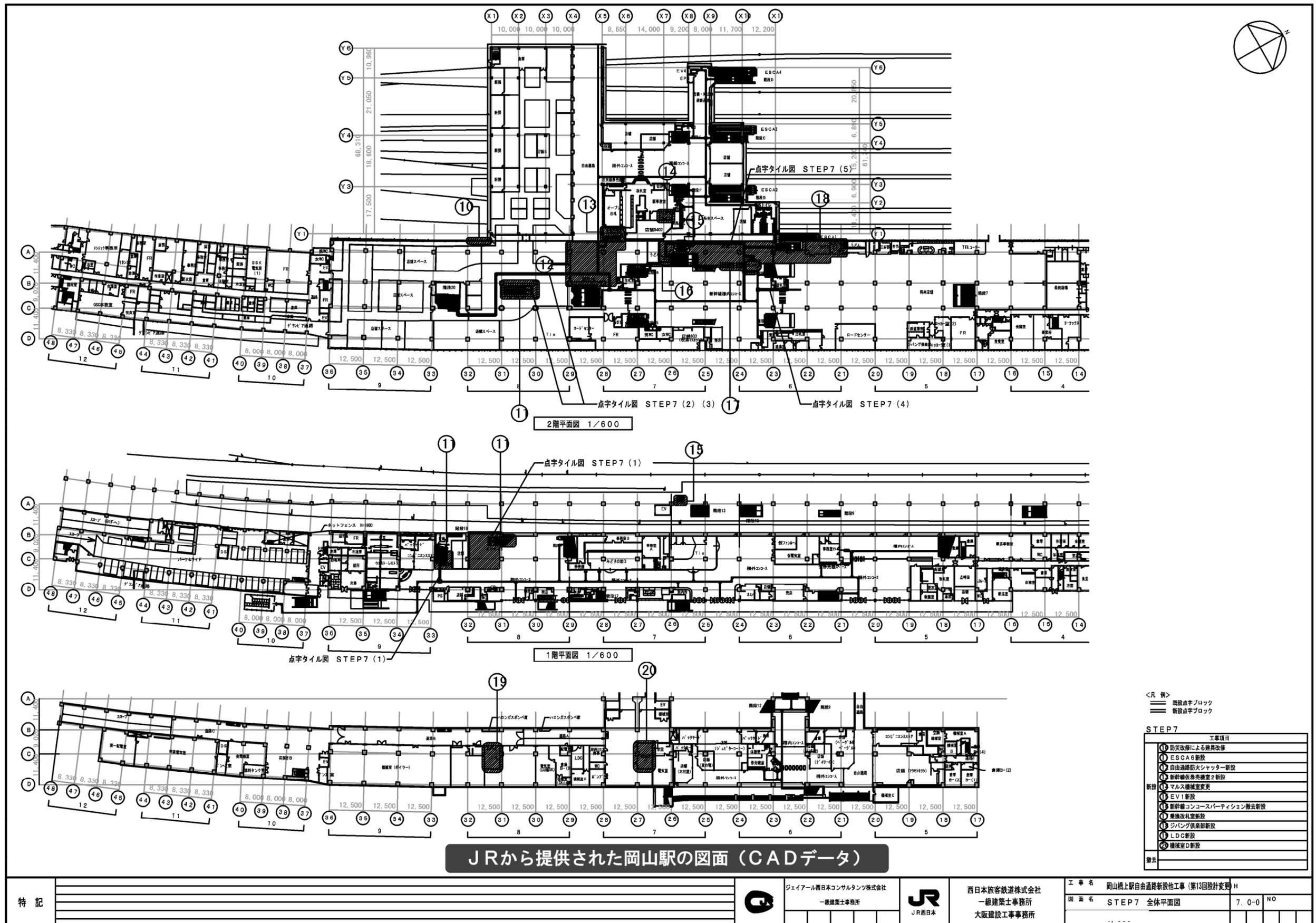
平成 11 年度			
工事名			
路線名	岡山駅前		
図面名称	全体平面図	図面番号	2
縮尺	図示		
岡山市			

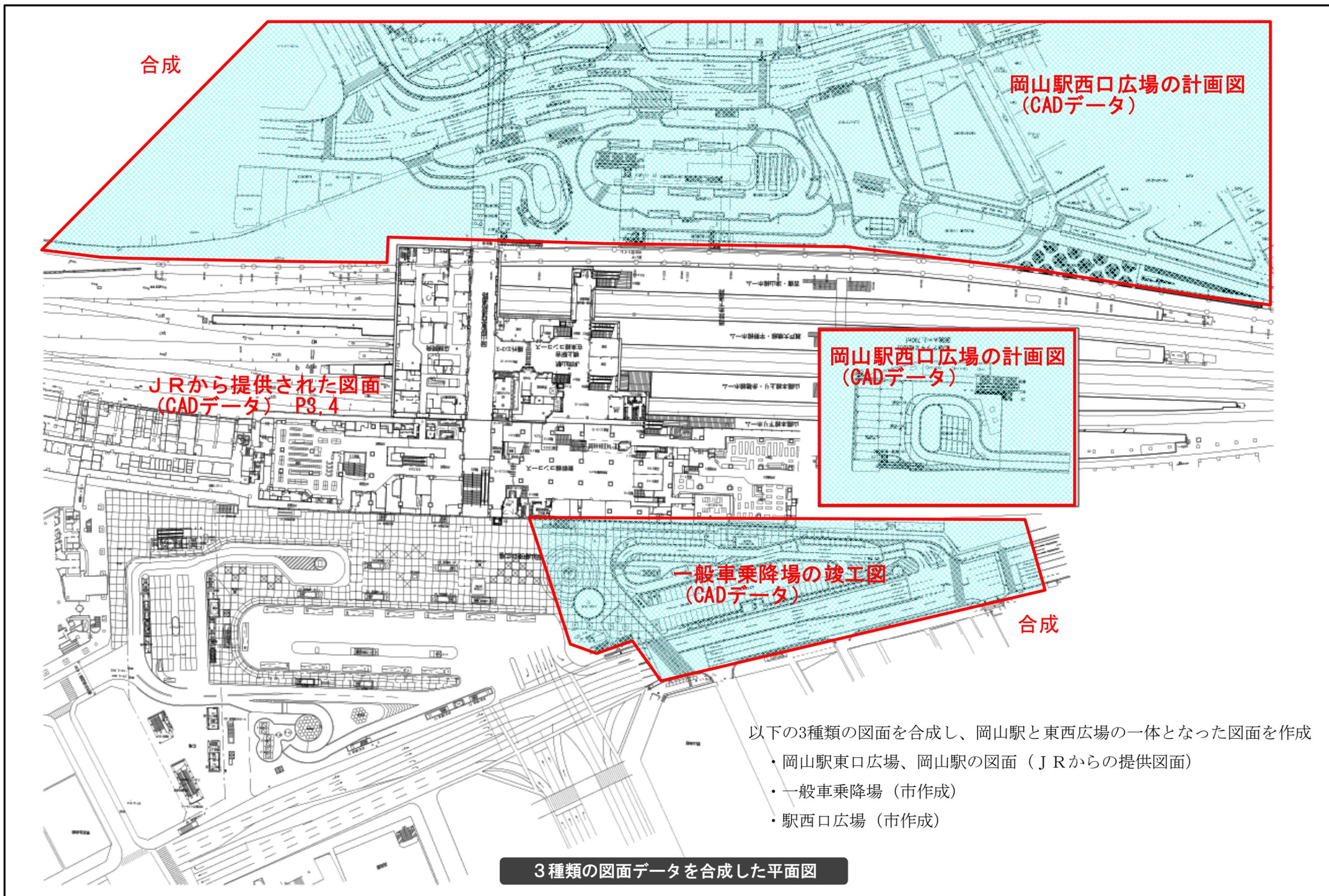


JRから提供された岡山駅東口広場の図面 (CADデータ)

本屋1号改良 (B)

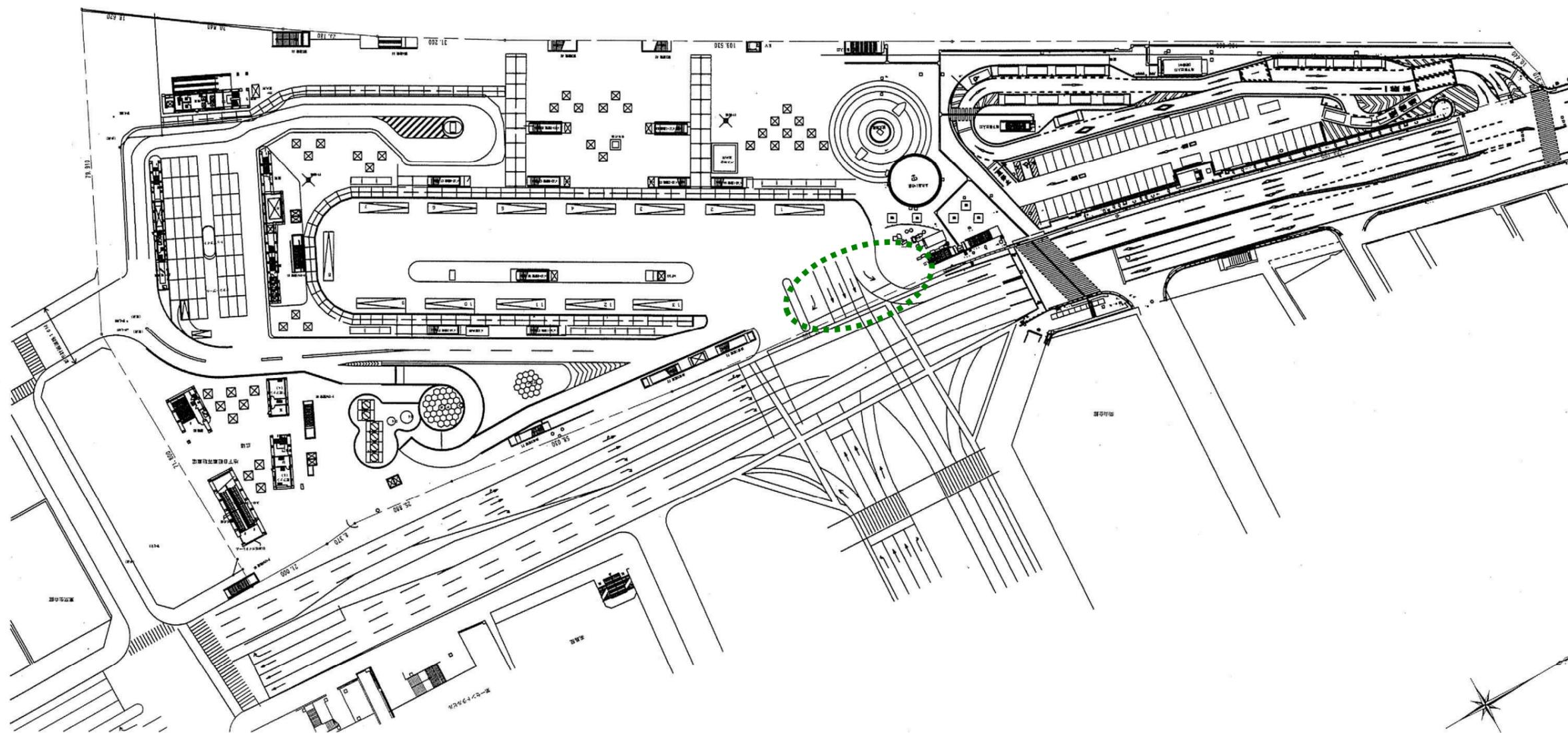
特記		 ジェイアル西日本コンサルタンツ株式会社 一級建築士事務所	 JR西日本	西日本旅客鉄道株式会社 一級建築士事務所 大阪建設工事事務所	工事名	岡山橋上駅自由通路新設他工事 (第10回設計変更)H	
	図面名				仮設トイレ配置図	3. 4-1	NO





敷地配置図

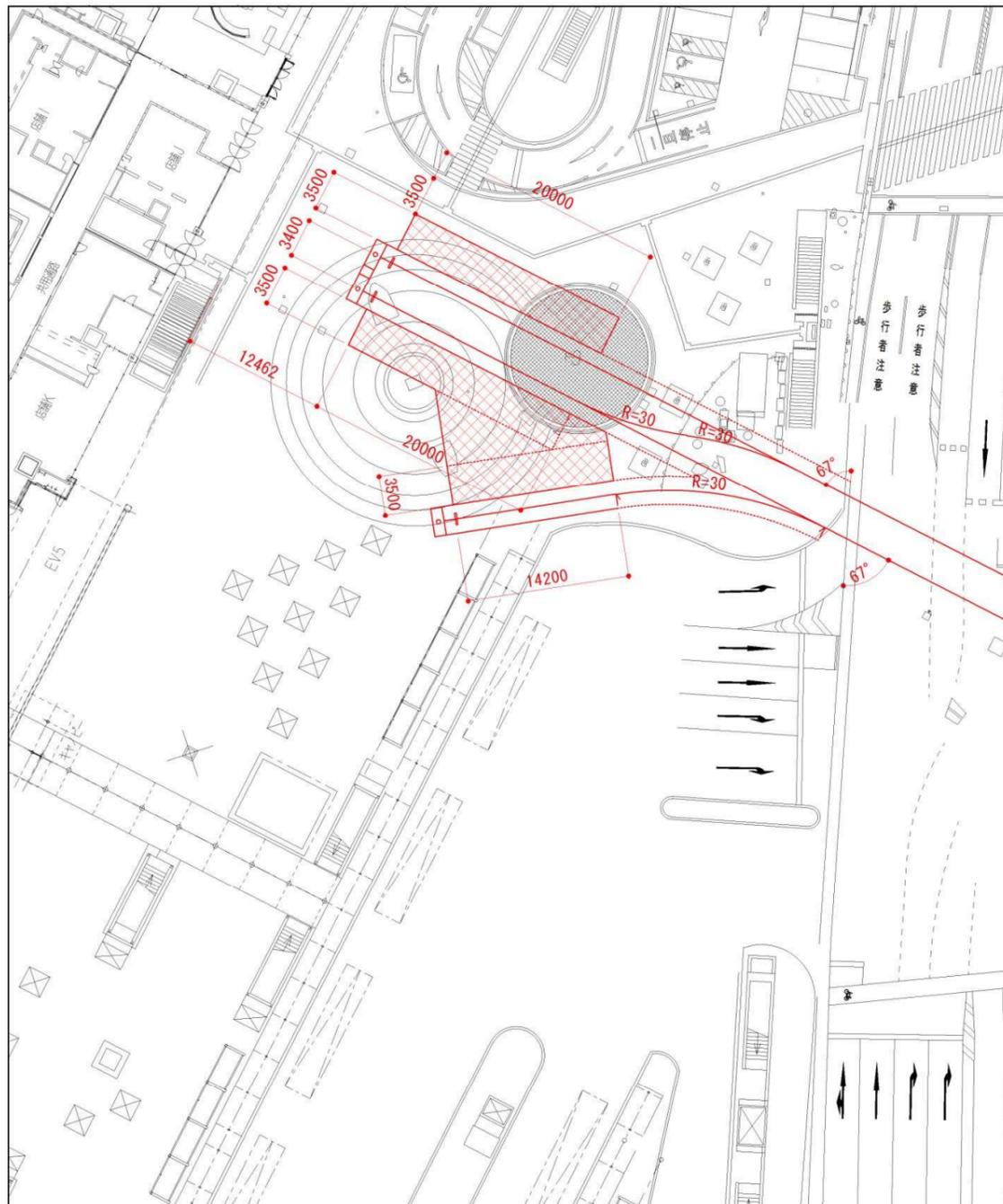
平成20年11月以前作成



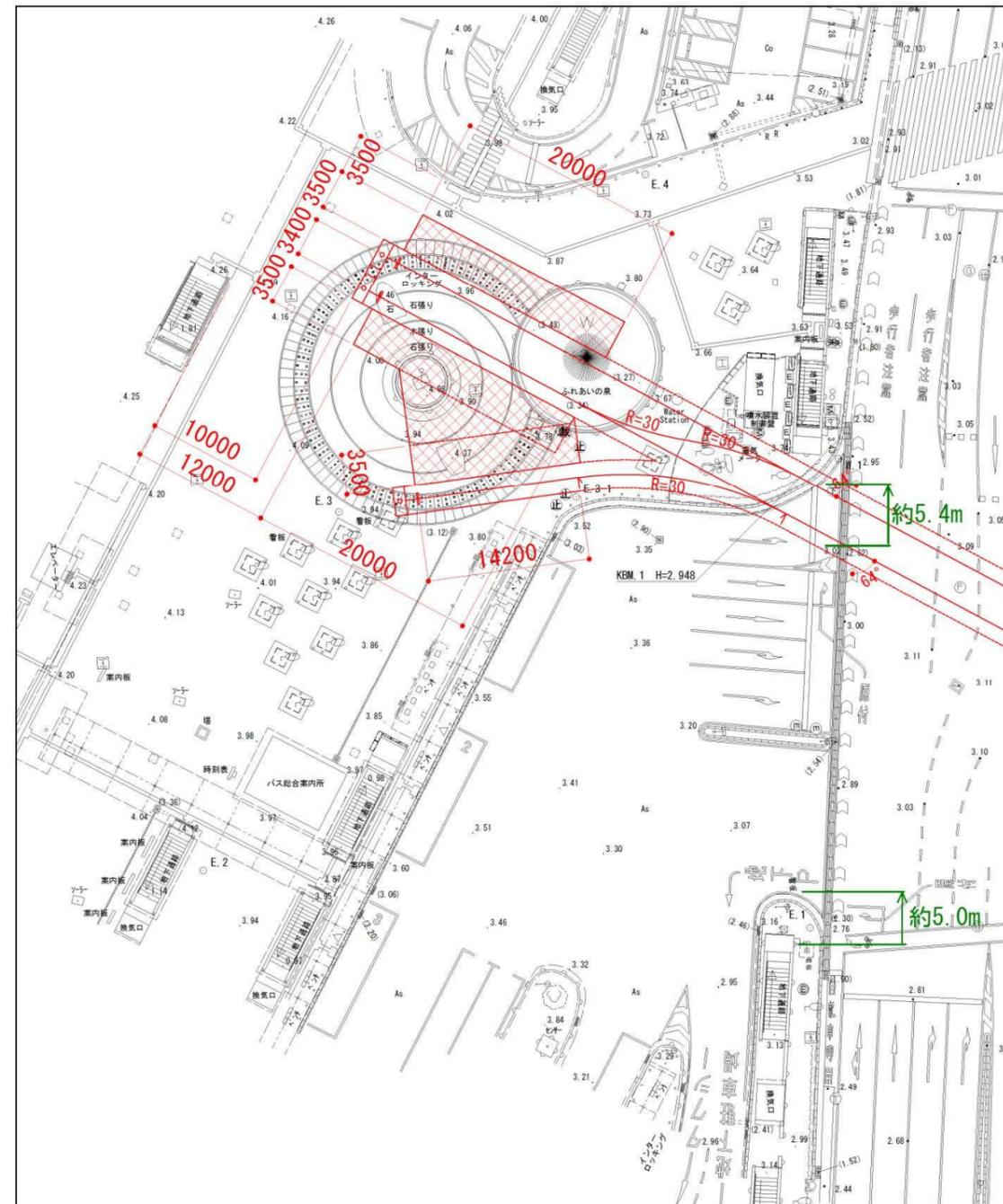
これまで使用してきた平面図 (CADデータ)

計画図に使用していた現況図の訂正

これまでの検討に用いていた図面

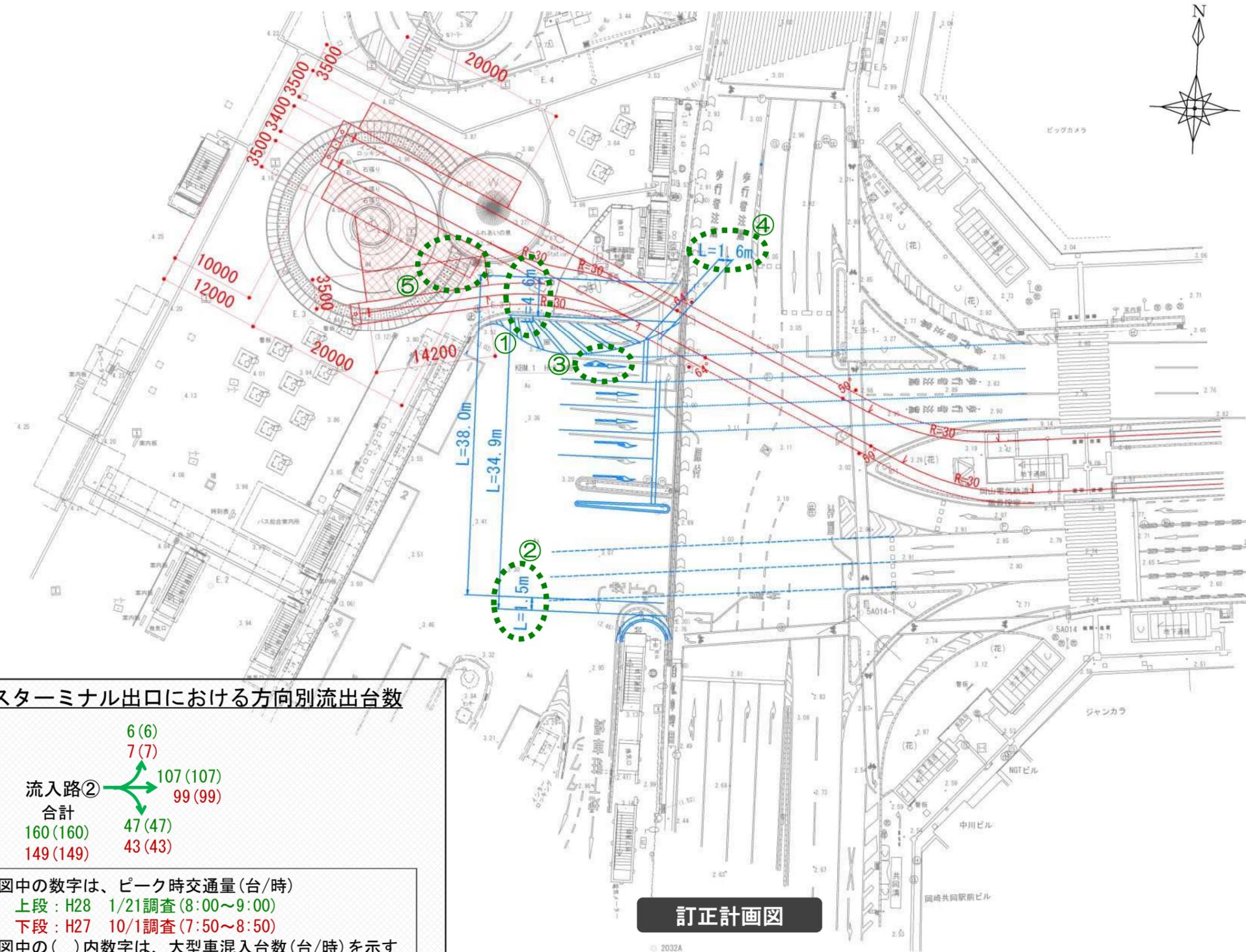


測量図



■訂正計画図

- ・現地測量して作成した現況図にあわせて、計画の訂正を行った。
- ・市が平成27年11月24日に提示した計画案（平面乗り入れ）に対して、大きな変更は生じない結果となった。



- ①バスターミナル出口の車線数を確保するため、出口車線を南へ4.6mずらす計画とした。
- ②これに伴い、入口の幅員を極力確保するため、入口を南側へ1.5m拡幅する計画とした。
- ③バスターミナル出口での方向別交通量を考慮し、左折レーンを左直レーンに変更することで直進レーンを3車線確保する計画とした。
- ④左直レーンの停止線が1.6m後退する計画とした。
- ⑤3電停のうち、南側の2つの電停を重ねることで乗り入れの奥行を短くした。

バスターミナル出口における方向別流出台数

	6 (6)	7 (7)	107 (107)
流入路②	←	→	→
合計	160 (160)	47 (47)	99 (99)
	149 (149)	43 (43)	

※図中の数字は、ピーク時交通量(台/時)
 上段：H28 1/21調査(8:00~9:00)
 下段：H27 10/1調査(7:50~8:50)
 ※図中の()内数字は、大型車混入台数(台/時)を示す

訂正計画図

- これまでの調査検討会で提示した各案について、現況図を現地測量により作成したものに變更し、あわせて計画を訂正した上で、再度評価の見直しを行った。
- 結果として、一部の検討案において、新たに支障となる施設の増加や、道路と軌道との交差角度の變更はあった。
- しかし、全体の評価そのものに変更はなく、計画案の絞り込みは変わらない結果となった。
- 第2回から第4回までの調査検討会のそれぞれの検討内容の見直しについて、次ページ以降に詳細を示す。

表一各調査検討会の検討内容の見直し結果一覧

調査検討会	各評価指標で変更のあった案		全体の評価そのものに変更のあった案
	施設に影響	交差角度に影響	
第2回 調査検討会	11	12	0
第3回 調査検討会	0	0	0
第4回 調査検討会	4	4	0

2. 第2～4回調査検討会資料の訂正

第5回 路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画案調査検討会

各検討案について、以下の項目により、再度見直しを行った。
以下、黄色の着所箇所が、見直しに伴う修正箇所である。

<第2回 調査検討会>

平成27年1月20日（火）第2回 調査検討会

乗り入れパターン	平面乗り入れ案		高架乗り入れ案	地下乗り入れ案	歩行者デッキ連結案	
	検討案：12案	タクシー高架案 検討案：3案	検討案：3案	検討案：2案	検討案：6案	
選 定 項 目	駅前広場内施設 への影響	◆影響する施設（評価×、△）の有無 ・評価×施設の代替確保の可否 ⇒代替できない案：3案 ・評価△の施設の機能低下に対する許容の可否	◆影響する施設（評価×、△）の有無 ・評価×の施設の代替確保の可否 ⇒代替できない案：1案 ・評価△の施設の機能低下に対する許容の可否	◆影響する施設（評価×、△）の有無 ・評価×の施設の代替確保の可否 ・評価△の施設の機能低下に対する許容の可否		◆影響する施設（評価×、△）の有無 ・評価×の施設の代替確保の可否 ・評価△の施設の機能低下に対する許容の可否
	歩行者動線 への影響	◆歩行者動線の確保の可否 ⇒確保できない案：8案	◆歩行者動線の確保の可否			
	岡山駅前交差点・ 市役所筋への 影響	◆車両通行への影響 ⇒車両通行に影響する案：2案 ◆交差点と軌道の交差角度 ⇒交差角度が45度未満の案 ：2案	◆車両通行への影響 ◆交差点と軌道の交差角度			
	地下構造物 への影響		◆影響する構造物の有無 ◆地下構造物の補強の可否	◆影響する構造物の有無 ◆施設の代替確保の可否	◆影響する構造物の有無 ◆施設の代替確保の可否	◆地下構造物の補強の可否 ◆電停と地下通路を結ぶ階段への支障の有無 ⇒階段に支障する案：2案
	地下埋設物 への影響			◆影響する埋設物の有無 ◆埋設物の移設の可否	◆影響する埋設物の有無 ◆埋設物の移設の可否	◆影響する埋設物の有無 ◆埋設物の移設の可否

※赤字の案のうち、45案で重複あり



選定項目をクリア した検討案の数	検討案：1案	検討案：2案	検討案：3案	検討案：2案	検討案：4案
---------------------	--------	--------	--------	--------	--------